

沿岸海域環境保全情報

大規模な油流出事故が発生した場合に、的確に油防除活動に対応するためには、沿岸域の情報が必要となります。「油汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画（平成9年・閣議決定）」においても、油による影響を評価し、的確な措置を講じて災害を最小限にするために参考とすべき諸情報を収集・整理することとしています。

海上保安庁海洋情報部海洋情報課沿岸域海洋情報管理室では、「沿岸海域環境保全情報」として、油防除活動に必要な沿岸域の地理情報、自然情報、社会情報、防災情報等の整備を行っています。

沿岸海域環境保全情報一覧	
地理情報	海岸線、道路、鉄道、公共施設、行政区画
社会情報	港湾、港則法適用港、漁港、港湾法区域、漁港区域、港則法航路、海上交通安全法航路、米軍演習区域、取水施設、発電所、共同漁業権、区画漁業権、定置漁業権、マリーナ、海水浴場、潮干狩り場、国立公園区域、国定公園区域、海中公園、天然記念物、ラムサール条約登録湿地区域、名称、史跡
自然情報	藻場分布、珊瑚礁分布、干潟分布、マングローブ、湿地、海獣類生息地、ウミガメ産卵地、哺乳類、鳥類
防災情報	油保管施設、係留施設、オイルフェンス展開船、グラブ船、タグボード、タンクローリー車、作業船、廃油処理施設、強力吸引車、油回収船、油回収装置資、機材等保有状況、集油船、高粘度油回収ネット、その他
その他	海上保安庁事務所、島名、港湾状況写真、海岸線のESI情報・写真



1997年1月2日 日本海 ナホトカ号沈没油流出事故

海岸線のESI情報

ESI (Environmental Sensitivity Index ; 環境脆弱性指標) とは油汚染に対する沿岸域の脆弱の程度を指標化したものです。海岸線の形態 (岩、砂浜、人工護岸、植生物等) に応じて、油が漂着した場合の影響の程度を自然浄化能力、除去性により10ランク (ランク1~ランク10) に分類し、いくつかのランクは細分化し全体で18種類です。原則的にはランクの数字が大きいほど、海岸線の脆弱性は高くなっています。

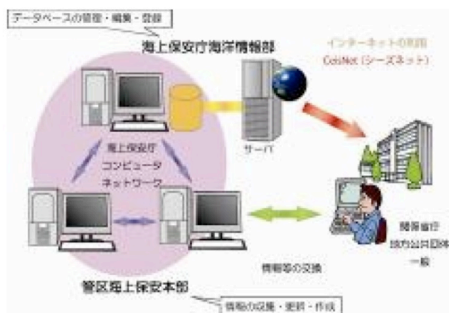
平成14年度から18年度までの5カ年で、各管区海上保安本部海洋情報部監理課専門官により現地調査や航空写真、その他の資料等から全国の海岸線を調査しました。

	1 A	開放性海域岩海岸 (断崖、絶壁等)
	1 B	開放性海域人工構造物
	2	開放性海域波食性台状地 (岩盤・粘土)
	3 A	細粒から中粒の砂浜
	3 B	砂の急斜面
	4	粗い粒の砂浜
	5	砂礫混合浜
	6 A	礫浜
	6 B	捨て石状海岸 (消波ブロック護岸を含む。)

	7	開放性海域干出平坦地 (干潟)
	8 A	遮蔽性海域の磯と急斜面 (岩盤・粘土、捨て石状海岸を含む。)
	8 B	遮蔽性海域人工構造物
	9 A	遮蔽性海域干出平坦地 (干潟)
	9 B	植生土手 (河口部)
	10 A	塩水性及び半塩水性草性湿地
	10 B	淡水性草性湿地
	10 C	淡水性草木性湿地
	10 D	低木性湿地 (マングローブ)

海岸線のESIランクー一覧

沿岸海域環境保全情報の提供



「沿岸海域環境保全情報」は、海上保安庁が保有する情報に加え、関係省庁・地方公共団体等の協力を得て収集した情報をデータベースとして管理しています。情報の提供については、地理データ上に各種情報を重ね合わせて表示する地理情報システム (GIS) の機能を活用し、関係省庁・地方公共団体及び一般に対して、インターネットにより提供を行っています。

沿岸海域環境保全情報
(CeisNetとESIマップ)
の提供ホームページ

<http://www2.kaiho.mlit.go.jp/>

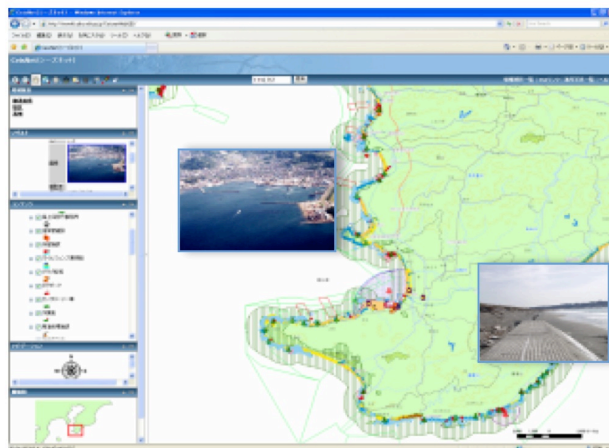


CeisNet (シーズネット)

迅速かつ汎用性に富んだ情報提供を行うため、Web-GISの機能を用いたCeis Net (Coastal Environmental Information Service Network ; シーズネット) を平成15年から運用しています。

利用者はCeis Net へアクセスすることで、必要とする海域の情報をシンボルから選択して、情報を得ることができます。

画面左欄に情報項目が列挙され、ボックスにチェックした項目が画面に表示されます。その他に簡易な情報検索機能、描画機能、印刷機能等があります。港湾状況 (2,461枚) ・海岸線のESI情報 (16,292枚) の写真を表示させることができます。



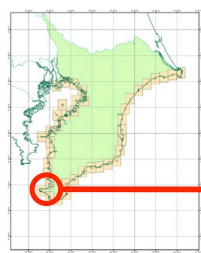
CeisNetの表示例 (千葉県館山港周辺)

ESIマップ

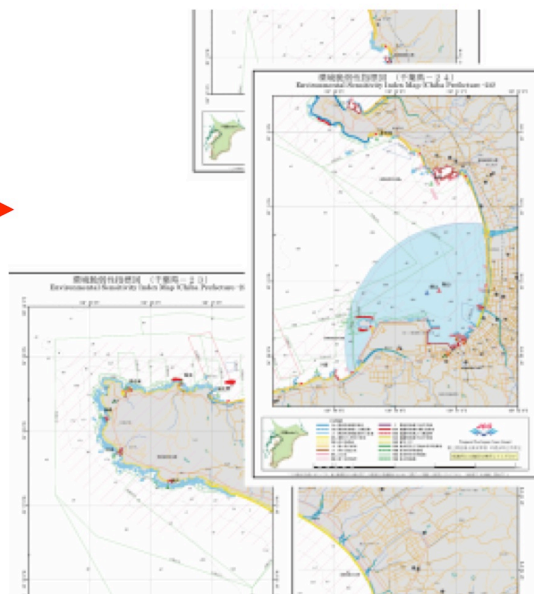
油流出事故の現場等では、往々にしてインターネットが使用できない環境下にあることから、油汚染防除活動に最低限必要と考えられる海岸線のESI情報をはじめとする沿岸海域環境保全情報をシンボル化して掲載したESIマップを、各管区海上保安本部海洋情報部において作成し、インターネットでPDF形式により公開しています。

利用者は、必要とする区域のESIマップをホームページからダウンロードして使用することができます。ESIマップの縮尺は、A3サイズで印刷した場合に、1/25,000の縮尺で使用できます。

ESIマップは、平成21年3月までにすべて完成し、日本全国の海岸線を2,147枚で網羅しています。



千葉県のインデックス



ESIマップ (千葉県館山港周辺)